

室蘭・海星学院男子テニス部

「全国へ」腕磨く

全国選抜高校大会出場を決めた室蘭・海星学院高校男子テニス部が、練習に打ち込んでいる。大会は来年3月20日に福岡県で開幕する。佐藤傑主将は「ダブルスを強化しつつ、シングルスにも磨きをかけた」としている。

(渡部大成)



全国出場は3年ぶり2度目。3年前は、部の取り組みなどが評価される選抜枠での出場。今回は実力で全国選抜大会の切符をつかんだ。佐藤主将は「自分の役割やできることをそれぞれが考え、練習できていた」とが、優勝につながった」と語る。

道大会(10月1〜3日、旭川市)はトーナメント戦で行われ、決勝まで順調に勝ち上がった。決勝の相手はこれまで何度に対戦経験のある北海道科学大高(札幌支部)で、今回も激戦と

なった。

団体戦はシングルス3試合とダブルス2試合の5試合制。第4試合までで、シングルスは2勝したがダブルスで2敗し、2-2のタイに。最終戦のシングルスで斎藤緋月選手が、7-6で接戦をものにし、優勝した。斎藤選手は「チームの命運が懸かり緊張したが、今まで培ったことを自信に変えて勝ちにいった」と振り返った。

15日からは、第15回全国私学選手権の道内予選(三笠市)も控えている。来年3月の全国選抜大会と合わせてできることを出し切り、一人一人の勝負をチームの勝利につなげたい」と意気込む。

今年の同部は、インターハイや全日本ジュニアテニス選手権でも個人、団体で全国出場を果たしている。



3年ぶりに全国選抜高校大会に出場する海星男子テニス部のメンバー(提供写真)